

「学校教育目標」実現のための取り組み内容と具体的方策

目 標		具 体 的 方 策
確かな学力の育成	主体的に学ぶ子の育成	① 教材を十分に研究し、課題や発問等を工夫し見通しを持たせることで、児童が興味や関心を持ち、探究的に学ぶ態度を育てる。 ② 基礎的・基本的な学習内容の定着を図り、効果的な支援をすることで、すべての児童の学びを保障する授業づくりを行う。 ③ わからなさを出し合い、聴き合うことを大切にした対話的な学びを取り入れることで、児童が考えを広げ深めることができる授業づくりを行う。
	特別支援教育の推進	① 実際に児童の姿を見て児童理解を深めるとともに、校内特別支援委員会で特別支援が必要な児童の支援・手立てを検討し、学校全体で支援の必要な児童を育てる。
	教職員の力量アップ	① 相互に授業を見合い、それぞれの知識や経験に学び合い、授業力を高めていく。年に1度は公開授業を全職員が行う。 ② 学校公開研究会で全学年が授業提案を行い、参加者から意見をいただくことで、自分たちの取り組みを見直し、授業力の向上に努める。 ③ 授業公開研修や先進校視察、各種研修会への参加等を通じて、授業改善に取り組む。
豊かな人間性の育成	道徳・人権教育の推進	① 学級の人権課題を明らかにし、仲間づくりレポートを作成することで、自分の実践を振り返り人権教育を進め、周りの子どもたちや授業者自身の変容を明らかにしていく。 ② 実態に即した道徳や人権教育の在り方を明らかにしていく。
	居心地のよい学級づくり	① 自分からあいさつができる力を付け、互いを大切に感じられる仲間づくりを進める。 ② いじめの早期発見に努め、協働して組織的に解決を図り、被害児童の心のケア及び加害児童への適切な指導を行う。 ③ スクールカウンセラー等との相談体制を確立し、子ども・保護者の悩みに対応をする。
	読書活動の充実	① 朝の読書、図書館祭り、どっこいしょさんの語り聞かせ、図書ボランティアさんの読み聞かせ等を通して、自分から進んで読書に関わって行く姿を身につけさせる。 ② 子ども達にとって魅力のある図書館や学級文庫になるように、図書館や学級文庫の環境整備を行う。
健康・体力の向上	体力・運動能力の向上	① 授業や休み時間などを通して、体力の向上を図る。 ② 朝のかけ足やなわとび月間などを通して、子どもたちが主体的に取り組める運動時間を確保する。 ③ 新体力テストの実施と分析を行い、指導に活かす。
	心と体の健康教育の推進	① 健康教育の充実や食育の推進を図る。 ② 学年卒を超えて清掃活動をしたり、高学年児童を中心に清掃活動を喚起したりすることで、全校児童の校内美化の意識が高まるように取り組む。
	安全に対する意識の向上	① 専門的な知識・技能を持った外部の人材を積極的に活用し、防犯に対する教職員のスキルアップを図る。 ② 災害・事故発生時には、迅速かつ組織的な対応ができる体制を整備し、的確な情報収集と役割分担で組織的に対応する。 ③ 様々な想定を考え、子どもたちや職員も明確な目的意識を持った避難訓練を実施する。 ④ 避難訓練の想定を明らかにし、保護者・地域の協力体制を確立していく。 ⑤ 教職員の危機管理意識の向上を図り、学校の施設設備の改善に努める。
地域とともに子どもを支える学校	全員参加による学校経営	① 学校づくりビジョンを十分に理解し、達成に向けて指導部が中心となって組織的に取り組む。また、学校づくりビジョンに基づいた学年経営案を策定し、学校づくりビジョンの実現を図る。 ② 勤務時間内に効率的な職務運用を図る。
	コミュニティスクールの推進	① コミュニティスクールの意義を理解して、地域への情報発信や地域との協働的な活動に取り組む。
	保護者・地域への情報発信	① 学校HPの内容を充実させ、「校長室から」は毎日、「各学年から」は2週間に1回以上の更新をする。 ② 学校だより「はまだっこ」や学年・学級通信などを定期的に発行し、学校の教育活動の様子を積極的に発信する。 ③ 学校づくり説明会を実施する。
	地域の教育力を活用	① 校外学習、語り聞かせ・読み聞かせ、外国語活動等において、学習ボランティアやゲストティーチャーと日常的な連携をとり、計画的に活用していく。 ② 地域教材を取り入れた学習や人材の活用を年に1回以上行う。